F★★★★
ホルムアルデヒド登録認定商品

非トルエン・キシレン塗料
(一社)日本塗料工業会　室内環境対策の自主表示ガイドライン～「非トルエン・キシレン塗料」～に適合

壁に塗る、安心と快適。

ALES SHIKKUI

アレスアートシックイ 厚膜型

内装用カタログ

消臭　調湿　抗菌 抗ウイルス

KANSAI PAINT

「白い壁」の魅力を追求した
アレスアートシックイ厚膜型

アレスアートシックイ厚膜型は、多孔質ローラーやコテを用いて
さまざまな模様を表現することができる内装用塗料です。
漆喰が持つ自然由来の優しい風合いと凛とした白の存在感を活かし、
凹凸の陰影を楽しむ表情豊かなテクスチャーで仕上げることを可能にしました。
クロスでは味わえない、立体的な曲線と直線が描く美しい表情をお楽しみください。

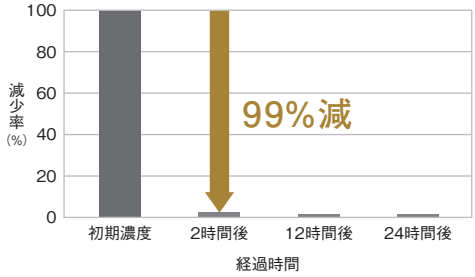
イヤなニオイを軽減、頼れる消臭機能

私たちの生活の中で、必ず発生するさまざまなニオイ。
ペットやタバコ・トイレ・ごみのニオイなど、人によっては不快な印象を感じるニオイも少なくありません。
アレスアートシックイを塗った壁は、こうしたニオイを吸着分解し、生活臭の悩みを和らげます。

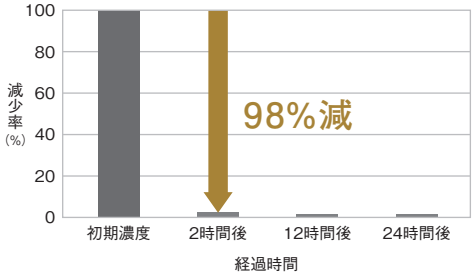
こんなにすごい。アレスアートシックイの消臭機能

昔から「漆喰」は、その優れた消臭機能が知られています。アレスアートシックイを塗った壁は、空間のニオイを吸着し分解する消臭機能を発揮します。

汗臭・加齢臭の消臭試験



足のニオイの消臭試験



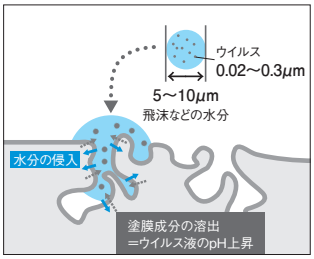
壁に付着したウイルスの増殖を抑制

私たちは生活をする上でいろいろなところを触るので、モノから手、手から人へとさまざまな菌やウイルスを運んでしまう恐れがあります。
アレスアートシックイを塗装した壁は、漆喰の持つ抗菌・抗ウイルス機能により壁に付着した菌やウイルスの増殖を抑制。
これからの生活にうれしい機能です。

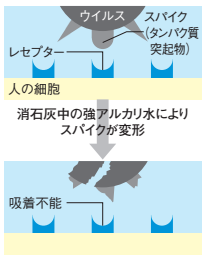
なぜ漆喰を塗った壁でウイルスの増殖が抑制されるのか。

壁に付着したウイルスは、漆喰の主原料である消石灰と水分が反応して生じる
強アルカリの環境下により、増殖作用が抑制されます。

●塗膜断面拡大イメージ

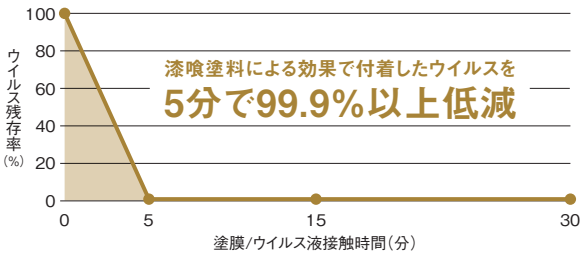


●ウイルスのスパイク部拡大イメージ



スパイクはウイルスによりさまざまな形状であり、人の細胞にあるウイルスと結合するウイルス受容体（レセプター）に決まった形状がある。結合により細胞に吸着したウイルスは細胞内に侵入し増殖する。

ウイルスE（エンベロープあり）に対する抗ウイルス試験
長崎大学での実験結果

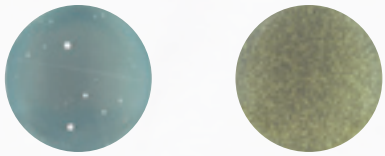


※本結果は同塗料を塗付したPET素材、不織布での試験結果です。
※本製品は人の疾病の治療又は予防に使用されることを目的とした製品ではありません。
※薬機法（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）の関係上、特定のウイルス名が表記できないため「ウイルスE」と記載しています。
※すべてのウイルスに対しての効果を保証するものではありません。

抗菌と調湿機能により衛生的で快適な空間に

アレスアートシックイを塗った壁は、室内の湿気を吸湿・放湿する機能を有しているので、
室内の湿度のバランスを保ち、快適を持続することができます。
この調湿機能と漆喰の特性である強アルカリ性により、カビの発生を抑制します。

抗菌試験



アレスアートシックイ　無加工

※黄色ブドウ球菌24時間後（洗い出し液1ml）

ALES
SHIKKUI

アレスアートシックイ 厚膜型

仕上げ例

※それぞれの仕上げ例は
　別途施工要領書をご参照ください。
※色合いはホワイトのみです。

砂紋

海波

凪

枯山水

雲海

壁に塗る、安心と快適。

ALES SHIKKUI

アレスアートシックイ 厚膜型

素　　材：コンクリート・モルタル・石膏ボード・塩ビクロス（汚染防止加工品除く）
部　　位：内部 壁面
塗装仕様：消石灰系仕上げ塗材
容　　量：20kg

施工場所	工　程		塗料と処置	標準所要量（kg/㎡/回）	塗り重ね乾燥時間（23℃）	塗装方法	希釈率（重量%）
現地	1	素地調整	エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清潔な面とする。				
	2	下塗り	アレスシックイシーラーネオ／上水	0.12	2時間以上7日以内	刷毛／ローラー	3～10
	3	上塗り（コテ仕上げ）	アレスアートシックイ厚膜型／上水	0.7～1.5	16時間以上7日以内	コテ	0
		上塗り（ローラー仕上げ）	アレスアートシックイ厚膜型／上水	0.7～1.0	16時間以上7日以内	パターンローラー	0～2

（注）標準所要量は、個々の条件により異なり増減します。

製品取り扱い上の注意事項（安全衛生他）

施工時の注意事項

塗装時の注意事項

1）シーラーレスでの施工は行わず、均一にしっかり塗りこむようにしてください。
2）休憩時間は水分の蒸発がないよう容器を密閉保管してください。また開封後の塗料はできる限り一度に使い切ってください。
3）一般の水性塗料と混合するとゲル化等の不具合が生じます。容器や塗装用具は一般のものと使用を分ける等の管理をお願いします。
4）コテの力の入れ方や、膜厚差により、艶感が変化します。艶の出方が気になる際は、オプションとして「アレスシックイEZクリーン（白専用）」仕様がございます。本品を塗付する事で、艶は均質化します。ただし、その場合、塗付面を衣類などで擦ると粉化物が付着する場合があります。
5）塗装用具（コテ・ローラー）は、意匠に合った物をご使用ください。
6）表面の白粉化が発生するおそれがありますので、結露が生じやすい場所や、湯気・水蒸気が充満するような室内壁には使用は避けてください。
7）素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケット科学社製CH-2）、または5%以下（ケット科学社製HI-500シリーズ:コンクリートレンジ）の条件で塗装してください。
8）シーリング材上の施工は避けてください（後打ちとしてください）。一般の艶消し塗料と同様、シーリング部の伸縮に塗膜が追随できずワレが発生します。また、シーリング材に含有される可塑剤が塗膜にブリードし濡れ色（黒ずみ）になります。
9）塗膜にワレが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。
10）気温5℃以上、湿度85%RH未満の環境（塗装時とその前後）で施工管理してください。塗装直後の環境湿度は材料からの水分の蒸発の影響もあり、周辺湿度が急激に上昇しますのでご注意ください。乾燥の遅れにより、漆喰塗膜の塗膜形成（多孔質構造）が変化し、光沢ムラや白粉が発生する等、正常な仕上がりを得られないおそれがあります。開口部が少ない構造の建物など、換気状況の悪い状況の場合は、湿気が滞留しないよう送風機や除湿器等を活用し強制的に換気・除湿を行ってください。
11）布クロス、紙クロス、汚染防止加工（シリコーン加工）の塩ビクロス、また可塑剤が多く含まれる塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革等には適用できません。
12）上記塗り重ね乾燥時間は、温度23℃・湿度50%の場合での目安です。環境条件により乾燥時間は異なりますのでご留意ください。
13）塗膜は抗ウイルス性、抗菌性等を発現させるため多孔質な構造になっていますので、通常のEP塗膜と比較して、汚れなどのシミが付きやすい傾向にあります。醤油やコーヒーなどの液体の飛沫がつくと、塗膜内部に浸透するため簡単には除去することができません。
14）過度に厚付けすると割れが発生するおそれがあります。事前に試し塗り等を行い、割れない膜厚をご確認の上、本施工を実施してください。特に「砂紋」「海波」は注意が必要です。

下地調整

1）ボード継部等の段差は、パテ等を用いて適切な処理を行い平滑にしてください（パテは十分に乾燥させてください）。
2）クロスの上に塗装する場合は、事前に浮きや剥がれ、継ぎ目のメクレなどが生じていないか確認し、不具合箇所は適切な処理を行い補正してください（処理が不十分な場合、仕上がり塗膜に影響を及ぼす事があります）。
3）タバコのヤニ汚れがある場合は、中性洗剤などで汚れを除去後、ヤニ止め効果の高いアレスセラマイルド（弱溶剤系）を塗装してから標準仕様で塗装してください。

養生等

1）施工面以外に塗材が付着しないよう養生テープ・ビニールシート等で十分に養生してください。
2）養生テープは「車両用マスキングテープNo.7239（日東電工社製）」をご使用ください。他の種類の養生テープでは、テープ粘着剤がシックイ面に残存し変色するおそれがあります。なお、長時間の貼付は部分的に黄変することがありますので、できるだけ早くとり外してください。

材料の保管調整

1）材料保管は、直射日光を避け、屋内保管（5℃～30℃）としてください。
2）下塗り（シーラー）は希釈上水を添加後、ハンドミキサー等でよく攪拌して均一な状態にしてください。
3）使用前にハンドミキサー等で均一に攪拌した後、ご使用ください。
4）移し替える塗料容器や塗装機器はステンレスまたはプラスチック製のものをご使用ください。本品がアルミ材質の容器や塗装器具等に接触すると、化学反応によりアルミ材を腐食させ、ガス発生により密閉容器が膨張・破裂する危険がありますので注意ください。

その他注意事項

1）本品取り扱い中は、皮膚に付着しないように専用マスク、眼鏡、手袋等保護具を着用してください。安全に取り扱っていただくため、ご使用前に必ずSDS（製品安全データーシート）をご確認ください。
2）子供の手が届かないところに保存し、誤飲、誤食をしないようご注意ください。
3）その他、詳細は施工要領書をご参照ください。

施工後の注意事項

1）施工後の塗膜表面に付着した、ヤニ汚れやこすり汚れなどの軽微な汚れは、メラニンスポンジなどを用いて軽く水拭きするか、#400程度のサンドペーパーを用いて当該部位を軽く研磨することにより除去できますが、塗膜の主成分である消石灰も一緒に擦り取られますので、その部位の艶感や肌が変わる事があります。尚、研磨作業の際には、削り粉が目に入らないよう保護メガネ・防塵マスクなどの保護具を着用してください。
2）塗装時及び塗装後に高湿度環境下に置かれると、光沢ムラや白粉が発生する等、正常な仕上がりを得られないおそれがあります。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照ください。

予防策

●取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護めがね・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。
●吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
●皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
●本来の目的以外に使用しないこと。
●指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。
●缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
●取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
●使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
●本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対　応

●目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
●皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
●吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
●飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保　管

●指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
●直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
●子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

アルミ容器への移し替えは絶対に行わないでください。
（化学反応により容器が膨張したり破裂することがあります）

廃　棄

●本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道　TEL(0133)64-2424　FAX(0133)64-5757
東　北　TEL(022)287-2721　FAX(022)288-7073
北関東信越　TEL(028)637-8200　FAX(028)637-8223
東　京　TEL(03)5711-8905　FAX(03)5711-8935
中　部　TEL(052)262-0921　FAX(052)262-0981
大　阪　TEL(06)6203-5701　FAX(06)6203-5603
中　国　TEL(082)262-7101　FAX(082)264-3285
四　国　TEL(0877)24-5484　FAX(0877)24-4950
九　州　TEL(092)411-9901　FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

(21年07月11刷PKO) カタログNo.703